

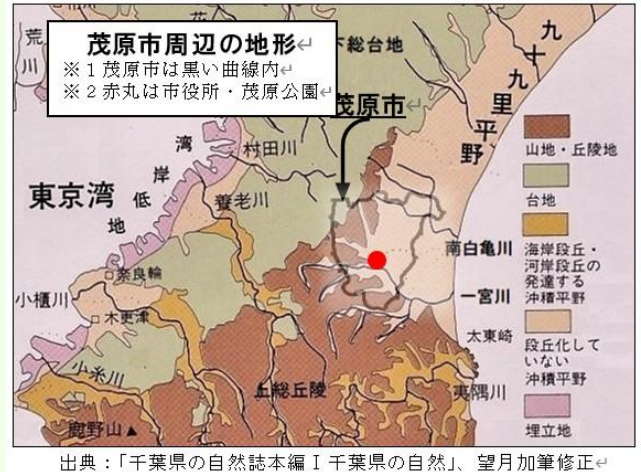
講座名	中央部会会員フィールド研修会		
開催日時	2024年 7月 7日 (日)	9時30分～	12時
開催場所	茂原公園 (茂原市)	参加者	会員6名

活動概要

この度フィールドとなった茂原公園は、地形・地質的には房総（上総）丘陵のほぼ北東端に位置し、九十九里平野に隣接しています（右図、配布資料より）。

公園の一角の展望台から、実際にその様子を確認することができました。

またスタジイ林の分布においては、主に県北に分布するスタジイ＝ヤブコウジ群集と主に県南に分布するスタジイ＝ホソバカナワラビ群集の、ほぼ境付近に位置しています。



植生はそれらを反映する種類が中心で、房総丘陵における里山植物や照葉樹林の代表的植物が観察されました。

また、会員が所属の地元団体が保全活動を行っている保護区を中心に、現状の観察を行うとともに、複数の保全対象植物について、望ましい保全の方法や考え方を話し合いました。

主な開花植物は、ヤマユリ、チダケサシ、オカトラノオ、タカトウダイ、アキノタムラソウ、アキカラマツ、ネムノキ、オオアリドオシ（実）など（順不同）でした。



ヤマユリ



チダケサシ



オカトラノオ



オオアリドオシ

園内の一角で上総層群の中の長南層の露頭と地下水の滲出が見られ、房総丘陵の地形・地質の特徴やそこに生育する湿生植物（アカバナ、コバノカモメヅル、ミゾカクシなど）について話し合いました。

※以下の開花写真は、別の日に撮影したものです。



長南層露頭



アカバナ



コバノカモメヅル



ミゾカクシ

(FIC 参加者) 植沢、植村、瀬山、竹内、西村、望月、計6名